

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月4日

上場会社名 住友金属工業株式会社
 コード番号 5405 URL <http://www.sumitomometals.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 友野 宏
 問合せ先責任者 (役職名) 広報グループ長 (氏名) 松井 俊文
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 東 大 名 札 福

TEL (03) 4416-6115

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	1,482,534	—	209,781	—	222,838	—	119,464	—
20年3月期第3四半期	1,294,770	10.8	211,682	△0.7	234,215	△1.9	144,277	△7.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	25.75	—
20年3月期第3四半期	31.58	31.57

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	2,550,697	—	949,591	—	35.3	—	194.23	—
20年3月期	2,418,310	—	949,303	—	37.3	—	194.43	—

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 900,891百万円 20年3月期 901,946百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
21年3月期	—	5.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,860,000	6.6	220,000	△19.8	215,000	△27.9	100,000	△44.6	21.56

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 有

(注) 詳細は4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

21年3月期第3四半期 4,805,974,238株

20年3月期 4,805,974,238株

② 期末自己株式数

21年3月期第3四半期 167,817,870株

20年3月期 167,067,695株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)

21年3月期第3四半期 4,638,506,184株

20年3月期第3四半期 4,569,266,358株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(参考) 平成21年3月期第3四半期(3ヶ月)の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

連結経営成績(3ヶ月)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	501,228	—	79,039	—	71,129	—	27,373	—
20年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	5.90	—
20年3月期第3四半期	—	—

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

(全体概況)

当第3四半期連結会計期間は、米国の金融危機に端を発した世界的な景気後退を受け、自動車及び建設関連需要を中心として鉄鋼需要が急激に減少しました。当社グループ（当社及び連結子会社）は、この厳しい事業環境に対応するために、減産を実施しています。

また、当連結会計年度の経営課題である、鉄鉱石や石炭を中心とした原材料価格の高騰による大幅なコスト増加に対応するために、当社グループはコスト削減に全力をあげて取り組むとともに、お客様のご理解をいただきながら、鋼材価格の改善に努めてきました。

この結果、当第3四半期連結会計期間の当社グループの業績については、売上高は5,012億円、営業利益は790億円、経常利益は711億円、四半期純利益は273億円となりました。

(セグメント別の業績)

当第3四半期連結会計期間のセグメント別の売上高及び営業利益は下記の表のとおりとなりました。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)
鉄鋼事業	4,760	790
鋼板・建材カンパニー	2,002	
鋼管カンパニー	1,889	
交通産機品カンパニー	264	
住友金属小倉	439	
住友金属直江津	93	
その他	70	
エンジニアリング事業	23	0
エレクトロニクス事業	95	△9
その他の事業	132	9
消去または全社	—	△0
合計	5,012	790

(セグメント別の当第3四半期連結会計期間の経営施策)

①鉄鋼事業

鉄鋼事業については、自動車及び建設関連需要を中心として鉄鋼需要が急激に減少しており、この厳しい事業環境に対応するために、薄鋼板、特殊鋼棒鋼・線材及び建材製品を中心に減産を実施しています。

また、当連結会計年度の経営課題である、原材料価格の高騰による大幅なコスト増加に対応するために、コスト削減に全力をあげて取り組むとともに、お客様のご理解をいただきながら、鋼材価格の改善に努めてきました。

当社グループは、「差別化を加速」し、「質」と「規模」のバランスある持続的成長を通じて企業価値向上を目指した経営を進めており、鉄鋼事業の持続的成長を担う、「差別化の加速」に向けた投資や施策については、中長期的な方針を堅持し、着実に実施しています。

②エンジニアリング事業、エレクトロニクス事業及びその他の事業

これらの事業については、引き続き事業の選択と集中を進め、企業価値の向上に努めています。

※ 平成21年3月期第1四半期及び第2四半期に係る連結経営成績に関する定性的情報については、平成21年3月期第1四半期決算短信（平成20年7月31日開示）及び第2四半期決算短信（平成20年10月30日開示）をご参照ください。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は25,506億円と前連結会計年度末と比べ1,323億円増加しました。純資産は9,495億円と前連結会計年度末と比べ2億円増加し、自己資本比率は35.3%となりました。借入残高については「差別化の加速」に向けた設備投資等の資金支出により9,608億円と前連結会計年度末と比べ769億円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の第4四半期は、当第3四半期連結会計期間以降の鉄鋼需要の急激な減少を受け、事業環境の悪化が見込まれます。当社グループは、「強いところをより強く」、「差別化を加速」することにより、このようなダウンサイドリスクに強い体質の強化を目指した経営を進めております。

このような状況下、当連結会計年度の売上高を18,600億円、営業利益を2,200億円、経常利益を2,150億円、当期純利益を1,000億円と予想しております。

なお、本日「業績予想の修正に関するお知らせ」にて、平成20年10月30日に公表いたしました業績予想を修正しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

以下の簡便な会計処理を適用しております。

① 棚卸資産の評価方法

四半期連結会計期間末における棚卸高の算出に関して、主として、実地棚卸を省略し前連結会計年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法を適用しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している場合に、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法を適用しております。

③ 法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法、繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法、あるいは繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前連結会計年度末以降に経営環境等、又は、一時差異等の発生状況に著しい変化が認められた場合に、前連結会計年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングに当該著しい変化の影響を加味したものを利用する方法等を適用しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 「四半期財務諸表に関する会計基準」及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」の適用

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 重要な資産の評価基準及び評価方法の変更

たな卸資産

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として総平均法による原価法を採用していましたが、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ3,091百万円減少しております。

③ 重要なリース取引の処理方法の変更

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、当社及び国内連結子会社は、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

ただし、当社及び国内連結子会社は、平成20年4月1日前に契約した所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。

これにより、四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

④「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第18号 平成18年5月17日)を適用しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,281	16,732
受取手形及び売掛金	218,210	175,144
商品及び製品	212,292	190,409
仕掛品	52,847	39,369
原材料及び貯蔵品	252,423	209,023
その他	76,500	47,287
貸倒引当金	△317	△202
流動資産合計	831,237	677,764
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	382,248	393,154
土地	343,722	345,579
その他(純額)	396,185	367,450
有形固定資産合計	1,122,155	1,106,183
無形固定資産	4,885	4,760
投資その他の資産		
投資有価証券	491,390	580,156
その他	102,064	50,488
貸倒引当金	△1,036	△1,044
投資その他の資産合計	592,418	629,601
固定資産合計	1,719,459	1,740,545
資産合計	2,550,697	2,418,310
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	402,798	331,846
短期借入金	236,621	219,964
未払法人税等	29,460	52,087
その他	173,820	178,005
流動負債合計	842,702	781,903
固定負債		
社債	160,650	134,658
長期借入金	526,582	478,765
退職給付引当金	23,014	24,975
特別修繕引当金	221	224
その他	47,934	48,479
固定負債合計	758,403	687,103
負債合計	1,601,105	1,469,007

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	262,072	262,072
資本剰余金	61,829	61,829
利益剰余金	702,947	630,063
自己株式	△90,515	△90,210
株主資本合計	936,333	863,754
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△34,592	35,403
繰延ヘッジ損益	△1,837	△1,162
土地再評価差額金	11,830	11,561
為替換算調整勘定	△10,843	△7,611
評価・換算差額等合計	△35,442	38,191
少数株主持分	48,700	47,356
純資産合計	949,591	949,303
負債純資産合計	2,550,697	2,418,310

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	1,482,534
売上原価	1,166,911
売上総利益	315,622
販売費及び一般管理費	
発送費	34,410
従業員給料及び手当	30,265
その他	41,164
販売費及び一般管理費合計	105,841
営業利益	209,781
営業外収益	
持分法による投資利益	28,584
その他	18,280
営業外収益合計	46,864
営業外費用	
支払利息	10,705
為替差損	8,052
その他	15,049
営業外費用合計	33,807
経常利益	222,838
特別損失	
投資有価証券評価損	15,872
特別損失合計	15,872
税金等調整前四半期純利益	206,965
法人税、住民税及び事業税	72,372
法人税等調整額	11,726
法人税等合計	84,099
少数株主利益	3,402
四半期純利益	119,464

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間 (自平成20年10月1日 至平成20年12月31日)
売上高	501,228
売上原価	386,607
売上総利益	114,621
販売費及び一般管理費	
発送費	11,638
従業員給料及び手当	9,856
その他	14,086
販売費及び一般管理費合計	35,582
営業利益	79,039
営業外収益	
受取配当金	3,326
持分法による投資利益	4,352
その他	1,651
営業外収益合計	9,330
営業外費用	
支払利息	3,516
為替差損	8,676
その他	5,047
営業外費用合計	17,240
経常利益	71,129
特別損失	
投資有価証券評価損	15,872
特別損失合計	15,872
税金等調整前四半期純利益	55,256
法人税、住民税及び事業税	22,547
法人税等調整額	4,425
法人税等合計	26,972
少数株主利益	910
四半期純利益	27,373

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	206,965
減価償却費	81,812
持分法による投資損益 (△は益)	△28,584
投資有価証券評価損益 (△は益)	15,872
売上債権の増減額 (△は増加)	△45,976
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△82,892
仕入債務の増減額 (△は減少)	73,107
その他	15,594
小計	235,899
法人税等の支払額	△94,278
営業活動によるキャッシュ・フロー	141,620
投資活動によるキャッシュ・フロー	
利息及び配当金の受取額	20,165
投資有価証券の取得による支出	△29,029
有形及び無形固定資産の取得による支出	△125,932
その他	△6,521
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,317
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	27,654
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△6,000
長期借入れによる収入	75,464
長期借入金の返済による支出	△38,453
社債の発行による収入	49,988
社債の償還による支出	△31,500
配当金の支払額	△46,389
その他	△8,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,016
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	21,943
現金及び現金同等物の期首残高	16,669
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	82
連結子会社の合併による現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	7
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,703

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	エレクトロ ニクス (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	476,026	2,378	9,553	13,270	501,228	—	501,228
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	679	—	—	4,644	5,324	(5,324)	—
計	476,706	2,378	9,553	17,915	506,553	(5,324)	501,228
営業利益	79,038	49	△980	995	79,102	(63)	79,039

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	鉄鋼 (百万円)	エンジニア リング (百万円)	エレクトロ ニクス (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,400,303	7,564	39,147	35,518	1,482,534	—	1,482,534
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,288	16	—	14,131	15,436	(15,436)	—
計	1,401,592	7,581	39,147	49,650	1,497,971	(15,436)	1,482,534
営業利益	212,126	△484	△1,177	△452	210,011	(229)	209,781

(注) 事業区分の方法及び各区分に属する主要な製品等

1 事業区分の方法

事業区分は、当社の社内カンパニー制に基づき、各カンパニーの業務執行体制を踏まえ、製品・市場の類似性等を勘案して決定しております。

2 各区分に属する主要な製品等

事業区分	主要な製品等	
鉄鋼事業	鋼板	構造用厚鋼板、低温用鋼板、ラインパイプ用鋼板、高張力鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、電磁鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、電気亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、プレコート鋼板、ステンレス精密圧延鋼板、純ニッケル鋼板他
	建材製品	H形鋼、外法一定H形鋼、軽量H形鋼、鋼矢板、鋼管杭他
	鋼管	継目無鋼管、電気抵抗溶接鋼管、大径アーク溶接鋼管、熱間溶接鋼管、異形鋼管、各種被覆鋼管、ステンレス鋼管他
	条鋼	機械構造用鋼、冷間鍛造用鋼、ばね鋼、快削鋼、軸受鋼、ステンレス条鋼他
	鉄道車両用品	車輪、車軸、台車、駆動装置、連結器他
	鍛造鋼品	鍛造クランクシャフト、金型用鋼、アルミホイール、鉄塔用フランジ、溝型車輪、圧延用ロール他
	半製品	鋼片、製鋼用銑他
	その他	チタン製品、製鉄技術、電力卸供給、鋼材等の海上・陸上輸送、設備メンテナンス、パイプライン、エネルギープラント、石灰石の販売他
エンジニアリング事業	橋梁・土木製品他	
エレクトロニクス事業	ICパッケージ、電子部品他	
その他の事業	不動産の賃貸・販売、試験・分析事業他	

b. 所在地別セグメント情報

当第3四半期連結会計期間（自平成20年10月1日至平成20年12月31日）及び当第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日至平成20年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報は記載しておりません。

c. 海外売上高

当第3四半期連結会計期間(自平成20年10月1日至平成20年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	154,566	56,522	211,088
II 連結売上高(百万円)			501,228
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	30.8	11.3	42.1

当第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	アジア	その他	計
I 海外売上高(百万円)	462,207	152,361	614,568
II 連結売上高(百万円)			1,482,534
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	31.2	10.3	41.5

(注) 国又は地域の区分の方法及び各区分に属する主な国又は地域

1 国又は地域の区分の方法

国又は地域の区分は、地理的近接度に基づいております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア………中国、韓国、東南アジア、中近東等

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自平成19年4月1日 至平成19年12月31日)
	百万円
I 売上高	1,294,770
II 売上原価	△976,882
売上総利益	317,888
III 販売費及び一般管理費	△106,205
営業利益	211,682
IV 営業外収益	47,984
受取利息	1,204
受取配当金	5,172
持分法による投資利益	32,741
その他の収益	8,866
V 営業外費用	△25,452
支払利息	△10,103
その他の費用	△15,348
経常利益	234,215
VI 特別利益	6,903
VII 特別損失	△12,899
税金等調整前四半期純利益	228,219
法人税等	△80,637
少数株主損益	△3,304
四半期純利益	144,277

(2) (要約) 連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	百万円
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	228,219
減価償却費	75,604
受取利息及び受取配当金	△6,376
支払利息	10,103
持分法による投資損益	△32,741
売上債権の増減額	966
棚卸資産の増減額	△74,696
仕入債務の増減額	28,335
その他	△4,513
小計	224,901
法人税等の支払額	△94,302
営業活動によるキャッシュ・フロー	130,598
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
利息及び配当金の受取額	15,121
有形無形固定資産の取得による支出	△113,113
その他	△24,339
投資活動によるキャッシュ・フロー	△122,331
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
利息の支払額	△10,175
社債及び借入金の増減額	127,240
配当金の支払額	△43,600
その他	△77,957
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,493
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	271
V 現金及び現金同等物の増減額	4,043
VI 現金及び現金同等物の期首残高	13,020
VII 現金及び現金同等物の期末残高	17,064

(注) 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係
(19年12月末)

現金及び預金勘定	17,128	百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	△63	
現金及び現金同等物	17,064	

(3) セグメント情報

(事業の種類別セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成19年4月1日至平成19年12月31日)

項目	鉄鋼	エンジニアリング	エレクトロニクス	その他	計	消去又は全社	連結
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上高及び営業利益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	1,205,286	10,372	47,288	31,822	1,294,770	—	1,294,770
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	937	—	—	15,875	16,812	(16,812)	—
計	1,206,223	10,372	47,288	47,698	1,311,583	(16,812)	1,294,770
営業費用	997,666	10,602	47,273	44,125	1,099,668	(16,580)	1,083,088
営業利益	208,556	△229	14	3,572	211,914	(231)	211,682

(注) 事業区分に属する主要な製品等

事業区分	主要な製品等	
鉄鋼事業	鋼板	構造用厚鋼板、低温用鋼板、ラインパイプ用鋼板、高張力鋼板、熱延鋼板、冷延鋼板、電磁鋼板、溶融亜鉛めっき鋼板、電気亜鉛めっき鋼板、カラー鋼板、プレコート鋼板、ステンレス精密圧延鋼板、純ニッケル鋼板他
	建材製品	H形鋼、外法一定H形鋼、軽量H形鋼、鋼矢板、鋼管杭他
	鋼管	継目無鋼管、電気抵抗溶接鋼管、大径アーク溶接鋼管、熱間溶接鋼管、異形鋼管、各種被覆鋼管、ステンレス鋼管他
	条鋼	機械構造用鋼、冷間鍛造用鋼、ばね鋼、快削鋼、軸受鋼、スチールコード用線材、ステンレス条鋼他
	鉄道車両用品	車輪、車軸、台車、駆動装置、連結器他
	鍛造鋼品	鍛造クランクシャフト、金型用鋼、アルミホイール、鉄塔用フランジ、溝型車輪、圧延用ロール他
	半製品	鋼片、製鋼用銑他
	その他	チタン製品、製鉄技術、電力卸供給、鋼材等の海上・陸上輸送、設備メンテナンス、パイプライン、エネルギープラント、石灰石の販売他
エンジニアリング事業	橋梁・土木製品他	
エレクトロニクス事業	ICパッケージ、電子部品他	
その他の事業	不動産の賃貸・販売、試験・分析事業他	

6. その他の情報

(1) 全国粗鋼生産量

(単位：百万トン)

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	通期
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
18年度	29	29	58	30	30	60	118
19年度	30	30	60	31	31	62	122
20年度見通し	31	30	61	26	19程度	46程度	107程度

(2) 当社粗鋼生産量 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む)

(単位：万トン)

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	通期
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
18年度	329	338	667	334	337	671	1338
19年度	321	340	661	352	349	701	1362
20年度見通し	350	354	704	336	266程度	600程度	1300程度

(3) 輸出比率 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む…金額ベース)

(単位：%)

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	通期
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
18年度	46	46	46	46	47	47	46
19年度	46	46	46	44	44	44	45
20年度見通し	44	44	44	46	48程度	47程度	45程度

(4) 想定為替レート

(単位：円/\$)

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	通期
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
18年度	114	116	115	118	120	119	117
19年度	121	118	119	114	105	109	114
20年度見通し	105	108	106	96	90程度	93程度	100程度

(5) 為替変動による業績影響 (連結)

19年度	20年度見通し
16億\$/年程度 \$受取超過	\$受取、\$支払は、バランス

(6) 鋼材平均価格 (株住友金属小倉、株住友金属直江津、株住友金属和歌山を含む)

(単位：千円/トン)

	第1四半期		上期	第3四半期		下期	通期
	第1四半期	第2四半期		第3四半期	第4四半期		
18年度	95.5	97.9	96.7	100.1	106.2	103.2	100.0
19年度	102.3	108.8	105.6	107.3	104.3	105.8	105.7
20年度見通し	110.1	126.9	118.6	130.3	134程度	132程度	124程度

(7) 単独決算見通し

(単位：億円)

	20年度		(前回)20年度 通期 見通し
	第3四半期 実績	通期 見通し	
売上高	9873	12500程度	13500程度
営業利益	1534	1650程度	2000程度
経常利益	1646	1700程度	2150程度
当期純利益	922	700程度	1350程度

(8) セグメント別の売上高及び営業損益見通し(連結)

(単位：億円)

	20年度第3四半期実績		20年度通期見通し	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益
鉄鋼	14003	2121	17600程度	2240程度
エンジニアリング	75	△4	100程度	△10程度
エレクトロニクス	391	△11	450程度	△40程度
その他	355	△6	450程度	10程度

<鉄鋼事業カンパニー別売上>

(単位：億円)

	20年度第3四半期 実績	20年度通期 見通し
鋼板・建材(連結)	5701	7050程度
鋼管(連結)	5583	7250程度
交産品(連結)	820	1100程度
住金小倉(連結)	1332	1500程度

(9) 借入残高

(単位：億円)

	20/3末	20/9末	20/12末	21/3末見通し
連結	8838	9106	9608	9950程度
単独	8004	8270	8762	9150程度

(10) 損益変動要因分析(連結)

20年度第3四半期←19年度第3四半期

(為替レートTTM 20年度第3四半期：103円/ドル←19年度第3四半期：117円/ドル)

損益好転要因		損益悪化要因	
億円		億円	
(コスト改善)	200	(原料・資材)	△2650
(評価損益)	180	(固定費増)	△85
(高炉切替影響)	50	(持分法損益)	△40
(販売価格・構成他)	2232		
合計	2662	合計	△2775
差引経常利益113億円悪化 20/第3四半期2228億円←19/第3四半期2342億円			